

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		市民活動支援センター運営事業		担当課	市民協働推進課
総合計画	政策	みんなで築くまち		計画期間	平成14年度～
	施策	協働によるまちづくりの推進		種別	任意の事務
	基本事業	市民活動への参加意識の形成・向上と情報提供		市民協働	委託事業
予算科目コード		01-020702-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市民活動支援センター事業実施要綱，守谷市民活動支援センター事業実施要領	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成14年12月、ボランティア等の市民公益活動が行いやすい環境を整備するため、情報発信や活動の場を提供する施設として浄化センター内に開設した。平成20年4月から市民交流プラザ内に移転し、機能の充実を図った。平成28年4月から運営業務を委託し、市民活動団体に対し、より効果的な支援が可能となった。	市民活動に関する研修会や講座等を開催し、活動の場の提供として会議室や備品の貸出しを行う。 また、市民活動の情報を収集し、提供する。市民活動団体の交流や連携を促すとともに、団体からの相談に対応し、活動を支援する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
既存市民活動団体が自発的に行う活動の強化と新規団体を育成することが必要であり、市民や市民活動団体に対し、情報や交流の場を提供することで市民のボランティア意識の啓発と活動の支援を行う。これにより、地域活動を活発化させ、誰もが積極的にまちづくりに参画できる協働のまちづくりの推進を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民活動に参加したいと思う市民が増えるようにする。 市民活動の情報提供窓口を周知し、活動を始めやすくする。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
コロナ禍の状況の中，公益活動団体による活動が縮小されている。市民主体の活動が衰退する懸念がある。	令和2年11月～3月：オンライン講座の開催（5回） 令和2年1月～2月：講座生の状況を把握，分析 令和3年3月：次年度以降の開催計画，運営業務委託契約締結
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
コロナ禍に配慮した活動の方法を団体へ提唱する。初心者向けのオンラインの活用方法等の講座を開催し，「新しい生活様式」を取り入れた活動の手法を提唱し，団体の活動を活発化させる。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	市民や団体からの支援要請は，年々専門的な内容となっている。また，コロナ禍による社会環境の変化に柔軟に対応するためには，運営体制を強化する必要がある。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度 of 取組（評価、課題への対応）
市民公益活動の拠点施設として、公益活動に参加する市民や団体の連携を強化し、団体のニーズに合わせた支援が必要となる。	緊急事態宣言発令に伴う施設の休館中は、施設職員による電話での相談業務を継続して実施した。また、アフターコロナの状況を見据え、市民活動団体へ新しい活動の手法を提案した。オンライン会議等を取り入れた講座等を開催するなど、市民や市民団体活動のレベルに応じた支援を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
団体活動件数（回）	292.00	326.00	317.00	335.00	332.00	264.00	340.00
ボランティア講座の参加人数（人）	4,270.00	5,015.00	4,849.00	4,688.00	4,446.00	2,383.00	5,000.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当該施設を休館したことや市民活動団体がイベントや講座等の開催を自粛したため、成果が低下した。今後は、新しい日常（ニューノーマル）に配慮した当該施設の運営に取り組み、成果の向上を図る。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	新しい日常（ニューノーマル）に配慮し、オンライン会議等を促進するなど、デジタル化により市民や市民活動団体の利便性を向上させるとともに、より効率的かつより効果的な施設運営を目指す。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	9,732	13,000	9,990	11,541	11,541
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,732	11,019	0	0	0
	一般財源	0	1,981	9,990	11,541	11,541
正職員人工数（時間数）		242.00	355.00	394.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,010	1,457	1,595	0	0
トータルコスト		10,742	14,457	11,585	11,541	11,541